

看護業務効率化先進事例収集・周知事業【継続】

令和2年度予算案 26,821千円（令和元年度予算額 26,821千円）

背景

「新たな医療の在り方を踏まえた医師・看護師等の働き方ビジョン検討会報告書」（平成29年4月6日）や「医師の働き方改革に関する検討会」（平成29年8月から実施）において、医師から看護職へのタスク・シフティング（業務の移管）の推進が議論され、看護職の活躍の場や業務の拡大が期待されている。

看護職の活躍の場や業務の拡大に伴い、これまで以上に看護業務の効率化を図り、看護職がより専門性を発揮できる働き方の推進や生産性の向上が必要となる。

事業内容等

◆事業目的：

看護業務の効率化としては、他職種との連携推進、ICTの利活用等が想定されるが、各施設の特性により取り組みの程度や取り組める内容にも差異が大きいと想定されるため、看護業務の効率化に関する先駆的な取組を収集し、その中から汎用性が高く効果のある取組を選定し、広く周知する。

◆事業内容：

看護業務の効率化に資する取組を広く募集し、選考委員会を設置して先進的取組を選定・表彰、周知する。

<取組例> 申し送り時間短縮、ベッドコントロールのAI活用、体温や血圧・心拍数などの自動記録等

- ▶ 選考委員会を設置し、有識者の意見を聞いて先進的取組を選定。
- ▶ 周知方法は、取組事例の報告会+動画を作成しHP上で公表。
- ▶ 選定した先進的取組の他施設での試行を支援。

取組の公表（周知）

HP上での動画公開



報告会・受賞式

動画作成



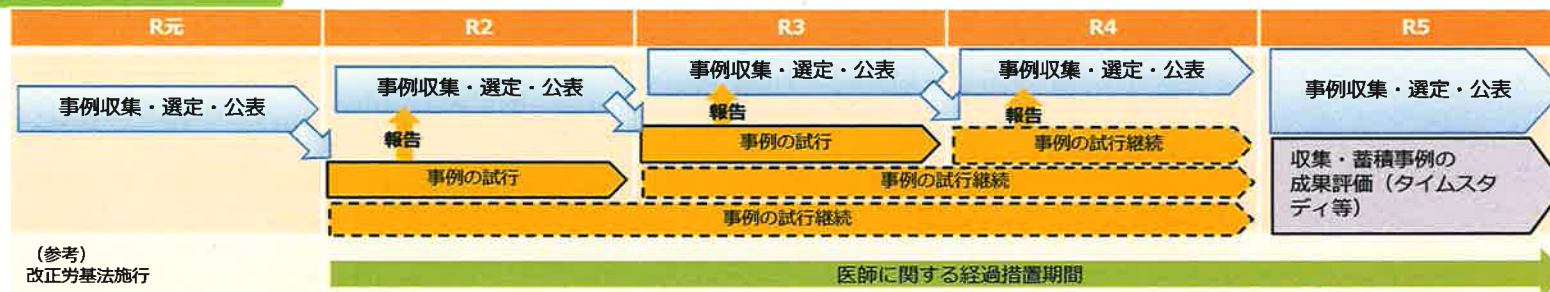
選定

選考委員会



先進的取組医療機関

スケジュール（予定）



委託先

公募により選定した団体